

2017年12月4日
大阪府議会2025年国際博覧会誘致特別委員会

2025年国際博覧会の大阪誘致に向けた取組み ～2017年11月15日BIE総会等について～



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

政策企画部
万博誘致推進室



World Expo 2025
Candidate

次 第

日時：2017年11月15日

場所：OECDカンファレンスセンター

- 2017年アスタナ博 閉会セレモニー（20分）
- 2020年トバイ博 進捗報告（20分）
- 2019年北京園芸博 進捗報告（15分）
- 2019年ミラノ・トリエンナーレ 進捗報告（10分）
- **2025年登録博立候補国プレゼンテーション（各20分）**
 <日本→ロシア→アゼルバイジャン→フランス>
 ～ 12:30～14:30 昼休憩 ～
- 2022-23年認定博立候補国プレゼンテーション（各30分）
- 2022-23年認定博 投票
- 質疑
- 次回総会の案内

<主な出席者>

- ・竹本直一 衆議院議員（2025年大阪万国博覧会を実現する国会議員連盟）
- ・岡本三成 外務大臣政務官
- ・松井一郎 大阪府知事（誘致委員会会長代行）
- ・松本正義 関西経済連合会会長（誘致委員会会長代行）
- ・早川 茂 日本経済団体連合会副会長（誘致委員会副会長）
- ・吉村洋文 大阪市長（誘致委員会副会長）
- ・尾崎 裕 大阪商工会議所会頭（誘致委員会副会長）

2017年11月15日 BIE総会における日本のプレゼンテーション

日本のプレゼンテーション (全体)

① オープニングムービー

世界で活躍する日本企業の社員（女性）がバングラディシュを訪れ、安全な「飲み水」の普及に現地の人々と取り組む姿を描く。

② 世界で活躍する日本人女性、日本ポリグル社 藤田千恵子氏によるスピーチ

SDGsに取り組む人物の実体験から、大阪万博の意義（BIE加盟170ヶ国のSDGs達成）と共創の姿勢を伝える。

③ コンセプトムービー①（2025年に向けた大阪・関西の姿勢と取組）

※一部パートに安倍総理の出演

大阪・関西万博が170ヶ国との「和の精神」で、SDGs達成を目指す万博であることを具体的な事例も踏まえながら伝える。

④ 日本で学んだ留学生、ジョアキム・ルタイシレ氏によるスピーチ

実際に関西で先端技術を学びSDGsに取り組む外国人の視点から、日本とのCo-Creation（共創）や大阪・関西の印象について語る。

⑤ 吉村大阪市長による開催地である「夢洲」の御紹介

ホストシティの長である吉村大阪市長が、大阪にはSDGs達成に向けて取り組む環境が整っていることを伝えるとともに、「夢洲」での開催を保証する。

⑥ コンセプトムービー②（2025年に向けた大阪・関西の進化）

※一部パートに安倍総理の出演

2025年に向け進む街づくりと、市民意識の高まり。2025年の具体的な会場イメージを伝える。

⑦ エンディング

岡本政務官、松井大阪府知事、松本関経連会長がステージに上がり、手を振る。

プレゼンター： 藤田 千恵子（日本ポリグル株式会社）

世界で活躍する、日本人女性によるスピーチ。

SDGsに取り組む実体験から、大阪・関西万博の意義（17ヶ国のSDGs達成）と共創の姿勢を伝える。

水浄化ビジネスを推進するため世界各国を訪問する中で目の当たりにした、地球が抱える様々な課題。

地球上の全ての人々が各課題を自分ごととして捉え、関西をはじめ日本の技術を活用してそれらを解決。

SDGs達成に向けた共創を実現していくと主張。



プレゼンター： ジョアキム・ルタイシレ
(JOACHIM, RUTAYISIRE)

神戸情報学院大学で学んだ経験を持つ、ルワンダ人留学生によるスピーチ。

関西で先端技術を学び、SDGsに取り組む外国人の視点から、日本とのCo-Creation（共創）や大阪・関西の印象を語る。

神戸情報学院大学に留学した経緯や体験。
大阪・関西の人々との交流。
その後、母国ルワンダで起業に取り組むなどの近況。
SDGsに向けた継続的な日本とのCo-Creation（共創）への希望について語る。



2017年11月15日 BIE総会における日本のプレゼンテーション

プレゼンター： 吉村大阪市長

[プレゼンテーション趣旨]

大阪・関西の多くの企業が、SDGsの為に解決策を生み出す技術基盤としての役割を果たしている。

大阪・関西の企業や教育機関は、世界の大きな課題解決に刺激を与える多くの企業家や革新者を育てている。

大阪の人々のおもてなしに、深く心を動かされることを確信する。

夢洲は、世界中からの共創プロジェクトを開催するのに完璧な場所であることを保証する。



ビデオメッセージ： 安倍総理

[プレゼンテーション趣旨]

私たちと一緒に、様々な世界の課題に立ち向かっていきましょう。

世界の皆さん、日本とのチームワークで、いのち輝く未来社会をデザインしましょう。

安心してみなさんが集い、共創が行える場を、日本の高い治安対策で実現する。

財政上の安定も約束。会場、インフラ整備も、責任を持って行う。

2025年、大阪でお会いしましょう。



2017年11月15日 BIE総会における他の立候補国のプレゼンテーション

他国のプレゼンテーション： ロシア

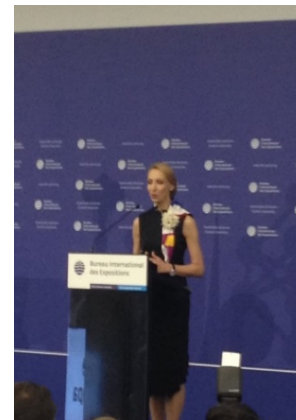
- ・ テーマ：「世界の変革：将来世代のためのイノベーションとよりよい生活」
- ・ 開催場所（開催期間）：エカテリンブルク（2025年5月2日～11月2日）
- ・ プレゼンの内容：ロシアに縁のあるパリ生まれのジャーナリストが全体進行。他に、デニス=マントウ産業貿易大臣、ロシア国立バレエ団創設者のバレリーナ、誘致委員会会長が登壇。プーチン大統領は、静止画像とメッセージ。テーマの「イノベーション」、「テクノロジー」がより人々を幸せにすると訴え。ソチ五輪やワールドカップを例に、運営体制が万全であることをアピール。技術革新により、目の不自由な人が色を感じることができ、妻を失った老人が再会できるというメッセージ動画を放映。



(パリ生まれのロシア人ジャーナリスト)



(産業貿易大臣)



(ロシア国立バレエ団創設者)



(誘致委員会会長)

他国のプレゼンテーション： アゼルバイジャン

- ・ テーマ：「人的資本の発展、よりよい未来の構築」
- ・ 開催場所（開催期間）：バクー（2025年5月10日～11月10日）
- ・ プレゼンの内容：財務大臣兼誘致委員会会長、誘致委員会渉外担当、2025年国際博覧会タスクフォース長が登壇。
青年が世界各国の人々の写真を収集し、それをもとに自分の将来の姿をオンライン上で描こうとするショートムービーを放映。会場図についても紹介。
テクノロジーの発展の先に、人的資本が重要であるということを強く主張。自国の国際イベント開催経験（F1グランプリ、欧州選手権等）に言及し、SDGsとの関係でも時宜を得ているとアピール。



(財務大臣兼誘致委員会会長)



(誘致委員会 国際担当)



(2025年国際博覧会タスクフォース長)

他国のプレゼンテーション： フランス

- ・ テーマ：「共有すべき知見、守るべき地球」
- ・ 開催場所（開催期間）：サクレー（2025年5月1日～10月30日）
- ・ プレゼンの内容：世界中の応募者から選定された11名のヤングアンバサダーからのメッセージ動画上映。ケニア、イタリア、コロンビア等のヤングアンバサダーがスピーチを行い、世界各国の若者から支持を受けているということを強調。数学者（兼国会議員）から、普遍的な考え方・知見は共有しなければならないものであるとして、テーマについて言及。会場図についても詳しく紹介。



(数学者／国会議員)



(ヤングアンバサダー)



2025年国際博覧会の決定までのスケジュール

時期	内容
2018年1～3月頃 (予定)	B I E 調査団の来日 ※ B I E 調査団は、立候補国を順次訪問予定
2018年6月	B I E 総会（調査団報告書をもとに、執行委員会が各立候補国を次回11月総会における投票に進めさせてよいか否かについて勧告を出し、総会において採決。第3回プレゼンテーション。）
2018年11月	B I E 総会（最終プレゼンテーション後、投票で開催国を決定）